

令和5年度

緑光会通信

令和6年3月31日

事務局(連絡先) 岡本 猛
小城市三日月町長神田 2304-6
TEL:0952-72-1546



❀ 何が大事かもう一度 ❀ 代表 田代利夫

森田茂先生の言葉に次のようなものがあります。「世の中に空気があるように空気を吸うことで生きている、生かされているのだから、その力によって何か大きな仕事を自分で自分らしい仕事をしなくちゃいけない」「無心になるより一心になること」「俺は描ける、良い絵が描ける」「魂のようなものを描きたい」改めて今、心に留めておきたいものだと思います。

令和5年度は、昨年4月上野の都美術館において開催された第89回東光展に始まり、今年1月佐賀県立美術館での第71回緑光展開催に至るまで、緑光会会員の皆様のご協力のもと無事に終えることができました。心より感謝いたします。ありがとうございました。後述される東光展や日展の成績については、日頃の制作への取り組みの成果が発揮され、大変喜ばしいことだと思っております。昨年8月夏期作品研究会では、東光会常任理事菊池元男先生を講師に迎え、熱気溢れるご指導のもと大いに勉強になりました。この研究会には、近隣各県より東光会の仲間も多数参加され、互いに刺激をいただく絶好の機会となりました。10月今年も引き続き公募形式とした第44回緑光会親子スケッチ会は、県内各地からたくさんの応募をいただきました。佐賀新聞社のご協力(共催)のもと、審査から展示まで会場をお借りすることができ大変感謝しています。また、公益財団法人金子財団からの支援をいただけることになり、40年以上続く取り組みが理解されたものと思っております。いつもの開催時期とは大きく変更を余儀なくされた緑光展は、今回は大作だけでなく、自分たちの小作品を同時に展示することで、来館していただいた方々からは、「新しい気づきをもらいました」「作者の別の面を感じることができました」等、好評を得ることができました。

しかし、これらの取り組みを支えていただいている緑光会会員の皆様のご尽力(理解と協力)がなければ、到底実施することはできなかったことだと思います。本当に心から感謝申し上げます。ただ、その中において残念ながらいつも互いに切磋琢磨して学び合った仲間との別れもありました。大変寂しくもありますが、まだまだこれからのご活躍を祈るばかりです。

さあ、第90回記念東光展も間近に迫ってきました。5年ぶりの巡回佐賀展が待っています。これまでの計画・準備をさらに推し進めながら、緑光会会員の皆さんの結束のもと素晴らしい展覧会を作り上げていきましょう。

森田賞を受賞して

田代 利夫

金子先生、岡本先生から受賞の知らせをいただき、言葉にならない心境になり、感無量でした。これまで、多くの諸先生方のご指導の賜物と心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。自分なりに、このタイミングで受賞させていただいたこの意味をかみしめながら、これからの創作活動に邁進していきたいと心新たにしております。森田茂先生は、「描いて描いて、自分自身を見据えるよう絵を描きたい」、絵を描くことの意味を自分自身に問いかけながら、絵と向き合っておられたのではないかと思います。

今、私自身が問われていると、受賞を機に気を引き締めながら制作と向き合っています。今後とも、ご指導の程よろしく願いいたします。



「船だまり」 F100

会員賞を受賞して

本田 銀子

この度、第89回東光展において、会員賞を頂くことができたのも、いつも熱心にご指導いただく金子先生はじめ、田代先生、岡本先生、緑光会の諸先生方のお陰と心よりお礼申し上げます。制作中は、作品に対して客観的に見られず、行詰まればばかりでしたが、研究会で先生方からご指導いただき、一歩ずつ前に進むことができました。この賞を頂いて、絵を描くことは、自分と向き合うようでありながら、一人で描いてはいないと、改めて強く実感しました。会員賞という賞の重みと喜びを胸に、また新たな気持ちで精進しなければならぬと痛感しています。まだまだ未熟者ではございますが、今度ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



「風船とわたし」 F100

田代さん(唐津市) 東光展で森田賞



「東光展」第89回展覧会「船だまり」の森田賞受賞者として、田代利夫氏(唐津市)が、4月26日(土)に、唐津市立美術館で、森田賞を受賞した。森田賞は、唐津市立美術館が主催する「東光展」の森田賞で、同会主催の唐津市立美術館の田代利夫さん(61)「唐津市II」の「船だまり」F100号、油彩、が森田賞に輝いた。受賞作はラフなタッチで描かれた漁船の静かな情景が、力強く繊細さを兼ね備えた二層の表現が存在感を放っている。賞状授与では、本田銀子さん(48)「唐津市II」の「風船とわたし」F100号、油彩、が会員賞に選ばれた。

森田賞は文化勲章受章で表現しつつ、團圓体書で、東光会委員を務めるの色彩を極め、空ろな森田氏にちなんで、海面を主張する書きこみで、県内作家の受賞は、とて、漁船の存在を際立たせている。

田代さんの「船だまり」 今回の作中の舞臺は漁船だ。唐津市をつたう唐津市の漁船、船庫方向から描いた作品。馬場の漁船で、風の力で、レターや機軸を、学校に勤務する行き取りと細部を高いタッチで、構図を練った。

県内作家12年ぶり

「員外賞」を追求する美術団体「東光の」第89回東光展で、同会主催の唐津市立美術館の田代利夫さん(61)「唐津市II」の「船だまり」F100号、油彩、が森田賞に輝いた。受賞作はラフなタッチで描かれた漁船の静かな情景が、力強く繊細さを兼ね備えた二層の表現が存在感を放っている。賞状授与では、本田銀子さん(48)「唐津市II」の「風船とわたし」F100号、油彩、が会員賞に選ばれた。

森田賞は文化勲章受章で表現しつつ、團圓体書で、東光会委員を務めるの色彩を極め、空ろな森田氏にちなんで、海面を主張する書きこみで、県内作家の受賞は、とて、漁船の存在を際立たせている。

田代さんの「船だまり」 今回の作中の舞臺は漁船だ。唐津市をつたう唐津市の漁船、船庫方向から描いた作品。馬場の漁船で、風の力で、レターや機軸を、学校に勤務する行き取りと細部を高いタッチで、構図を練った。



「東光展」第89回展覧会「風船とわたし」の会員賞受賞者として、本田銀子氏(佐賀市)が、4月26日(土)に、唐津市立美術館で、会員賞を受賞した。

本田さん(佐賀市)は会員賞

「東光展」第89回展覧会「風船とわたし」の会員賞受賞者として、本田銀子氏(佐賀市)が、4月26日(土)に、唐津市立美術館で、会員賞を受賞した。



東光展会場

令和5年5月16日 佐賀新聞

■第71回緑光展

❁ 緑光展を終えて



実行委員長 高嶋章一郎

昨年度は、緑光会70周年という節目を迎えた緑光展。あつという間に時間が流れたように感じます。第71回の緑光展は、いつもの時期と違い1月下旬に佐賀県立美術館で開催しました。主に東光展に出品した大作の作品展示のほか、小品作品も展示していつもと違うモチーフや表現がみられ見ごたえある内容だったように思います。会期中は、多くの方に来場していただきました。九州の各支部の方々も足を運んで作品のご批評もいただき、大変勉強になりました。

いよいよ今年の8月には、90回記念東光展巡回佐賀展が開催されます。事務局を任された以上、責任をもって努め、緑光会会員の皆様の結束と協力のもと、成功に導きたいです。



❁ 石本賞を受賞して



空閑 高子

思いもかけず石本賞を受賞して身の引き締まる思いです。静物を描き始めて数十年、静物を追っても追っても何を描きたいのかがわからなくなり挫折しそうなことばかりです。そんな私がここまで絵を描き続けて来られたのも、また、石本賞を頂けたのも金子先生始め田代先生、岡本先生、そしていつも暖かく見守ってくださる檜崎先生のご指導のお陰と感謝しております。取り掛かりが遅く反省しきりの私ですが、緑光会の研究会では仲間と共に時に慰め、時に励まして頂きありがたいと思っています。これからも私の心の中にある絵を追求し、学んで行きたいと思います。今後ともご指導よろしくお願いたします。



「静物」 F100

■第44回緑光会親子スケッチ会

昨年に引き続き、公募によるコンクール形式で行いました。公募の期間は10月2日～31日とし、338点もの応募がありました。11月23日に審査を行い、159点の入賞入選作を決定。特に中学の部は160点もの応募があったため、ハイレベルな選考基準となりました。

3年連続して、公益財団法人金子財団様からのご援助を受けることができ、コンクールがより一層充実したものとなりました。

また、事前に作品募集の告知を掲載していただいた佐賀新聞社のおかげもあり、安定した出品数の確保につながりました。



親子スケッチ作品展示の様子

親子スケッチコンクール入賞作品展

身近な風景
色鮮やかに
佐賀新聞ギャラリー

令和5年11月24日 佐賀新聞

令和5年11月24日 佐賀新聞

■第43回緑光会チャリティー色紙・小品展

親子スケッチコンクール作品展と同時開催で行いました。スケッチコンクールの主催である佐賀新聞社のご協力で今年も佐賀新聞社ギャラリーをご提供いただきました。

令和5年11月24日(金)から26日(日)の期間、スケッチ作品展を含め多くの方々にご来場頂きました。売り上げの一部を歳末たすけあいに寄付を行っています。

今回の緑光会チャリティー色紙・小品展では、スケッチ作品の掲示方法をクリップ連結に変更し、展示しました。ご来場していただいた出品者の方々の作品返却もスムーズに行うことができました。また色紙作品や小作品の作品はどれも素晴らしい作品ばかりで、多くの来場者に楽しんでいただくことができ、佐賀新聞社のご協力のおかげで3日間無事に開催することができました。



■夏期作品研究会

8月19日（土）、20日（日）の2日間、夏期作品研究会が実施されました。

講師に菊池元男先生をお招きし、金子剛先生、岡本猛先生にもご協力いただき、より充実した研究会となりました。九州内の福岡、長崎、熊本、大分の各支部からも多数参加（2日間で37名）いただき、お互いに気持ちと熱を分かち合い、「九州は一つ」との思いを新たにする絶好の機会となりました。

菊池先生は、参加者一人一人の話をじっくりとお聞きになり、作家の描く意図を把握したうえで、的確かつ丁寧にご指導いただきました。初日の夜には、佐賀支部会員と近県支部の参加者とともに、親睦を深め、楽しくも有意義な時間を過ごすことができました。菊池先生の「恩師の磯崎俊光先生との出会い、縁の大切さ」、「モチーフを変えながら、徹底した追究」についてのお話が印象的で、恩師のことばや制作に対する姿勢を見て、信頼して学んでこられた姿は、私たち緑光会の金子剛先生との関係と重なりました。モチーフを変える大変さに出会われながらも、その都度、モチーフと向き合い追究されてきたご経験から、留まることなく成長し続けることの大切さを学びました。

今回の夏期作品研究会での学びを、日展や東光展での制作に活かしていきたいと思います。



作品の指導をされる菊池元男先生

❁ 田中 一英さんを偲んで

南里 美紀江

田中一英さんのことを思い出すたびに、そのお人柄とともにたくさんの作品が思い出されます。看護師さんたちの働く姿、静かな山門と柔らかな日差し、コンビナートの金属的な構造美と柔らかな煙のコントラストが作り出す静かに広がる空気感・・・

いつも研究会のたびに完成度の高い作品を持ってこられました。それは、常に制作をされていた証であり、絵を描くことへの情熱と表現する喜びの表れだったと思います。対象と真摯に向き合い、とことん色や形を追求していく姿は、私のあこがれであり目指す姿でもありました。

また、田中さんはパソコンに堪能で緑光会展の絵はがきや作品集を提案し、自ら作成してくださったり、仕事の経験値を生かして適切な会計報告書について助言してくださったりと、緑光会にたくさんの力を与えてくださいました。田中一英さん、きっと今は天国で、大好きな日本酒を飲みながら、大好きな絵の制作をされていることでしょう。その姿を思い浮かべながら、一步でも近づけるように絵と向き合っていきたいと思います。これまで、本当にありがとうございました。そしてこれからも、緑光会のことを見守ってくださいね。



「化学コンビナート」

令和5年度 緑光会行事報告

1. 緑光会拡大役員会 5月13日(土)16:30~(あけぼの旅館)
2. 緑光会総会 5月13日(土)17:30~(あけぼの旅館)
3. 美協展出品者作品研究会 6月 3日(土)13:00~(西与賀公民館)
4. 夏期作品研究会 8月19日(土)20日(日) 9:00~(佐賀新聞ギャラリー)
5. 秋期研究会(3回) 9月2日(土)、9月16日(土)、10月7日(土)
すべて13:00~(西与賀公民館)
6. 色紙小品研究会 11月11日(土)9:30~(佐賀新聞社会議室)
親子スケッチ会審査
7. 第44回チャリティー色紙小品展 11月24日(金)~26日(日)(佐賀新聞ギャラリー)
※歳末助け合いで佐賀慈善銀行に売り上げの一部を寄付
8. 第44回親子スケッチコンクール作品展 11月24日(金)~26日(日)(佐賀新聞ギャラリー)
※338点の応募があり、入賞入選作159点を展示
9. 忘年会 11月23日(木)17:30~(あけぼの旅館)
10. 第71回緑光展 1月23日(火)~28日(日) 9:30~18:00(最終日16:00)
(佐賀県立美術館2号展示室)
11. 第90回東光展等作品研究会
12月 2日(土) 1月22日(月)
2月17日(土) 3月 2日(土) ※すべて13:00~(西与賀公民館)
3月20日(水) 3月30日(土) 1/22のみ県立美術館

令和6年度 行事計画(予定)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ○役員会 | 5/18(あけぼの旅館) |
| ○総会 | 5/18(あけぼの旅館) |
| ○美協出品者作品研究会 | 6/1(西与賀公民館) |
| ○九州地区作品研究会 | 6/15.16(熊本) |
| ○夏期作品研究会 | 8/9(県立美術館) |
| ○巡回展 開場式・前夜祭 | 8/9 |
| ○90回記念東光展巡回佐賀展 | |
| 第45回親子スケッチコンクール作品展 | 8/10~18(県立美術館) |
| ○秋期作品研究会 | 9月~10月上旬(3回を予定) |
| ○色紙研究会 | 11/9(西与賀公民館) |
| ○第45回歳末チャリティー色紙小品展 | 11/22~24(佐賀新聞ギャラリー) |
| ○緑光会忘年会 | 11月下旬(あけぼの旅館) |
| ○第91回東光展作品研究会 | 12月~4月上旬(5or6回実施予定) |